



1.	第 42 回 東京モーターショー2011	
	MINI (ショート・バージョン)	2
2.	第 42 回 東京モーターショー2011	
	MINI (ロング・バージョン)	3
	2.1 無限に広がるドライビング・プレジャー :	
	MINI Coupé	3
	2.2 プレミアム・セグメントのスポーツ・アクティビティ・クーペ、	
	MINI Paceman Concept	5
	2.3 究極のドライビング・プレジャー :	
	MINI Crossover	9
	2.4 感動から情熱へ :	
	MINI John Cooper Works	11

本プレス・インフォメーションの内容は、特に記載のない限り日本市場向けの仕様を基に記載しています。
その他の市場においては、仕様が異なる場合があります。

1. 第42回東京モーターショー2011 MINI (ショート・バージョン)



プレミアムな質感、印象的なデザイン、高い走行性能と効率性が一体となり、MINI はプレミアム・コンパクトカー・セグメントにおいて独自の地位を築きました。この英国生まれのブランドが世界的に飛躍し、成長した背景には、MINI が全く新しい市場を開拓したということだけではなく、ラインナップの拡張によるモデル・バリエーションの豊富さが新たなターゲット・グループに歓迎されたという側面もあります。東京モーターショー2011では、MINI はプロダクト・ポートフォリオに追加される最新のモデルを発表し、同時に未来に向けたブランドのビジョンを紹介します。その中心に位置するのが、アジア初披露となる MINI の全く新しいモデル、MINI Coupé です。2011年12月3日～11日まで開催される東京モーターショーの来場者は、魅力的なコンセプト・モデルを体験することができます。コンセプト・モデルは MINI のキャラクターに新たに加えられる特徴を具現化し、モデル・レンジをさらに広げる可能性を提示します。

現行の MINI モデルとしては初となる 2シーター・モデルの MINI Coupé は、ひと目見ただけでそのスポーティーなキャラクターに魅了されます。MINI Coupé は、パワフルなエンジン、独自のサスペンション設定、バランスの取れた前後軸重量配分、高剛性ボディ構造、最適化された空力特性を実現し、MINI 特有のゴーカート・フィーリングを最高レベルまで引き上げます。

この他に、モデル・ラインナップをさらに魅力的にする新たなコンセプトのスタディ・モデルが展示されます。MINI Paceman Concept (ミニ・ペースマン・コンセプト) は、MINI セグメントにおける世界初のスポーツ・アクティビティ・クーペとして登場します。

東京モーターショー2011では、さらに MINI の現行モデルの特徴を詳しく紹介します。MINI Crossover (ミニ・クロスオーバー) はブランド初の 4ドア・モデルであり、大型のテールゲートを備え、四輪駆動システム ALL4 をオプション設定しています。また、MINI John Cooper Works (ミニ・ジョン・クーパー・ワークス) は、ツイン・スクロール・ターボを装備したダイレクト・インジェクション・システム採用の強力なエンジンにより最高出力 155 kW [211 ps] を発生させ、まるでレース・マシンのような体験を提供します。



2. 第 42 回 東京モーターショー2011 MINI

(ロング・バージョン)

2.1 無限に広がるドライビング・プレ ジャー： MINI Coupé

現行の MINI モデル・ラインナップに、初めての 2 シーター・モデルが加わります。MINI Coupé は、MINI の 5 番目となるモデルで、コンパクト・スポーツカーのカテゴリーを新しく解釈し直して具現化したクルマです。MINI Coupé は、スポーツ性能に優れた MINI ブランドの DNA を受け継ぎながら、現代的な車両コンセプトを提示します。

MINI Coupé は、MINI ブランド中でも特にその突出した俊敏性と優れた走行性能により人々の心を捉えます。このモデルは、エクステリア・デザインとインテリア・デザインの両面において明らかに 2 シーター・コンセプトを強調しています。MINI Coupé は、大きく上に開くテールゲートと大容量のラゲッジ・スペース(容量 280 リッター)、さらにキャビンに通じるスルー・ローディング機構を備えており、優れた実用性も発揮します。

デザイン：個性的なキャラクター、ひと目で分かるスタイル

MINI Coupé は、大容量のラゲッジ・スペースを持つ 3 ボックス・スタイルのボディを採用した初のモデルです。その個性的なキャラクターは、フラットなシルエットと印象的なヘルメット・デザインのルーフに表れています。この 2 シーター・クーペのボディ・サイズは、全長 3,745 mm (MINI Cooper Coupé: 3,740 mm)*、全幅 1,685 mm*、全高 1,385 mm (MINI Cooper Coupé: 1,380 mm)* です。全長、全幅、ホイールベース (2,465 mm)* はハッチバックの MINI と同じですが、全高は明らかに低くなっています。

*日本仕様値

インテリアでは、ルーフ・ライナーに楕円状のくぼみが設けられており、ドライバーと助手席乗員用のヘッドルームにゆとりをもたせるとともに、個性的なキャラクターを強調しています。また MINI Coupé には、これに加えて独特の立体的な形状にデザインされた 2 ピース式リヤ・シェルフが装備されています。

エンジン：最高のパワー、MINI 特有の効率性

MINI Coupé には、パワフルなエンジンが用意されます。BMW グループの優れたノウハウをベースに開発したドライブ・トレインは、胸のすくような出力特性と優れた効率性を両立させています。エンジン・パワーのバリエーションは、ベース・モデルの MINI Cooper Coupé が 90 kW[122 ps]、上位グレードの MINI Cooper S Coupé が 135 kW[184 ps]、そして最もパワフルなスポーツ・モデルの MINI John Cooper Works Coupé が 155 kW[211 ps] となっています。また標準装備の 6 速マニュアル・トランスミッションの他に、MINI Cooper Coupé と

MINI Cooper S Coupé には 6 速オートマチック・トランスミッションも用意しています。

サスペンション：ゴーカート・フィーリングを極める徹底したスタイル
MINI Coupé は、このモデル専用に設計されたサスペンション技術により、かつて経験したことのない次元のゴーカート・フィーリングを実現しました。MINI 特有の前輪駆動方式、マクファーソン・ストラット式フロント・サスペンション、マルチリンク式リヤ・サスペンション、強力なブレーキ・システム、そして電動パワー・ステアリングにより、極めて俊敏なハンドリングを保証します。

MINI Coupé はダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)を標準装備し、MINI John Cooper Works Coupé には卓越した走りとスポーツ性をさらに高めるダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)とエレクトロニック・ディファレンシャル・ロック・コントロール(EDLC)を標準装備し、その他のモデルではオプション設定されています。

ボディおよび安全性：理想的な重量バランス、最適化されたエアロダイナミクス、隙のない保護機能
ドライブ・トレインやサスペンション・システムと同様に、ボディ構造と重量バランスも妥協することなく最大限のドライビング・プレジャーを引き出すように設計されています。革新的な歩行者保護システムとボディ剛性の強化措置により、重量バランスが少しフロント寄りに移動しており、前輪駆動方式の MINI Coupé のトラクションを最適化しています。またこのモデル専用の補強エレメントを組み込んで、俊敏性と安全性も向上させています。MINI Coupé の主な安全装備は、フロント・エアバッグ、頭部および胸部保護用サイド・エアバッグ、3 点式 ELR 付オートマチック・シートベルト、ベルトフォース・リミッター、シート・ベルト・テンショナー、タイヤ空気圧警告機能などがあります。

ハッチバックの MINI と比較して角度が 13 度小さくなったフロント・ウインドウ、フラットなシルエット、一体化されたルーフ・スポイラーの他に、アクティブ・リヤ・スポイラーが高速時の空気の流れを最適化します。MINI に初めて採用したアクティブ・リヤ・スポイラーはトランク・リッドに内蔵されており、走行速度が 80 km/h を超えると自動的にせり上がります。最高速度で走行しているとき、このスポイラーはさらに 40 kg のダウンフォースを生み出します。走行速度が 60 km/h 以下になると、アクティブ・リヤ・スポイラーは自動的に格納されます。

MINI Coupé のプレミアムなキャラクターは、豊富な標準装備によっても強調されます。ボディ・カラー、インテリア・カラー、シート・バリエーション、プログラム別に用意された MINI 特有のバラエティー豊かな装備品にモデル専用オプションが加わり、個性的な自分だけの MINI を仕立てることができます。

2.2 プレミアム・セグメントの スポーツ・アクティビティ・クーペ、 MINI Paceman Concept

MINI ファミリーの継続的な成長により、個性やブランド特有のドライビング・プレジャーを享受するための新しい可能性が次々と生まれます。東京モーターショー 2011 では、新たなモデル・レンジ拡張を目指した最新のコンセプトとして、コンセプト・モデルの MINI Paceman Concept を披露します。MINI Paceman Concept は、スモール・コンパクトカー・セグメント初のスポーツ・アクティビティ・クーペ (SAC) として位置付けられ、豊かなライフスタイルとプレミアムなクオリティを結び付けるクルマです。このクルマには、MINI Crossover の特徴、クーペ特有のスタイルが、見事なバランスを保ちながら組み合わせられています。

MINI Paceman Concept の男性的なスタイリングは、このコンセプトの独創性のみならず、純然たる MINI ブランドの血統を受け継いでいることも強調しています。コンパクトなサイズ、MINI 特有のプロポーション、高くなった最低地上高とやや高めに設定されたシート・ポジションなど、この試作モデルは MINI Crossover をベースにしています。2 枚の大きなドア、個性的なルーフ形状、力強いフォルムのリヤ・エンド、大きく上に開くテールゲートが、このコンパクトなスポーツ・アクティビティ・クーペという新しい車両コンセプトのキャラクターをはっきりと示しています。

この 4 シーター・モデルのボディ寸法は、全長 4,110 mm、全幅 1,789 mm、全高 1,541 mm です。MINI Paceman Concept は、MINI ブランド特有の極めて短いオーバーハングによって、たくましい外観を強調しています。

エクステリア：スポーツ・アクティビティ・クーペ - 都会的で男性的
MINI Paceman Concept でも、MINI らしさを象徴するフロント・マスクは健在です。フェンダー方向へサイドまで大きく回り込む、クローム・フレーム付きの大きなヘッドライト、特徴的な形状のエンジン・フード、MINI Crossover をベースにしたラジエター・グリルがあいまって、力強い印象をさらに強めています。フロント・バンパー下部に追加されたブレーキ・ベンチレーション用開口部と低い位置に配置されたフォグ・ライトが、このクルマをさらにスポーティーに見せています。

19 インチの大きなホイール、ホイール・アーチとドア・シルのブラック・フレーム、MINI 特有のリヤへ向けてわずかに上昇するショルダー・ラインが、力強さを強調しています。リヤに向かって緩やかに傾斜するルーフ・ラインは、リヤ・エンド付近で、クリアな印象を受ける幅の広い C ピラーに合流します。見た目にはウィンドウが車両全体を帯のようにぐるりと取り囲み、その上にヘルメット・デザインのルーフが浮かんでいるような印象を与えます。クーペ特有の後方に行くにしたがって幅が狭くなるウィンドウが、独特の躍動感あふれるウェッジ・シェイプを形作っています。リヤ・エンドでは、大きく張り出したホイール・ハウスがアスリートのようなボ

ディ・プロポーションを強調しています。また、大きく外側に寄せられ、新たな解釈によるテールライトと水平に走るラインが、リヤ・アクスルのワイド・トレッドをさらに強調しています。

インテリア：ラグジュアリーなキャラクター、洗練された機能性

MINI Paceman Concept のインテリアには、ブランド特有のデザインによる優雅さとスポーティーさに、斬新なアクセントが加味されています。スリムなセンター・コンソールのデザインが、ゆとりある足元スペースを確保します。ドライバーおよび助手席用スポーツ・シートの後方には2つの快適なセパレート式シートがあり、そのバックレストは流れるような弧を描いてサイドへと移行し、乗員を包み込む完璧な形状となっています。ドア・トリムおよびサイド・トリムの形状は新たに解釈し直され、ブランド特有の楕円形状がBピラーを越えてさらに奥まで、インテリアを前後方向に伸びており、室内の広さを強調しています。

ドライブ・トレインおよびサスペンション：パワー、効率性、刺激的なハンドリング

MINI Paceman Concept は、高次元のスポーティーな走りを実現するための理想的な条件を備えています。そのため、車両コンセプトも特に高出力パワー・ユニットを搭載することを前提としており、MINI Paceman Concept のパワー・ユニットには、例えば MINI John Cooper Works に搭載される出力 155 kW[211 ps] のパワフルな4気筒エンジンがぴったりでしょう。

MINI Paceman Concept のために開発されたサスペンションは、高性能パワー・ユニットのポテンシャルを確実に引き出し、かつ卓越した手法で刺激あふれる俊敏性をもたらします。正確なハンドリングと優れた走行快適性により、ブランド特有のゴーカート・フィーリングに新たな特徴を付け加えています。

MINI Paceman Concept は、ライフスタイルを重視する洗練されたターゲット・グループの要望を満足させるとともに、ブランド特有のキャラクターに適った魅力的な走りを約束します。それは、この全く新しい車両コンセプトがいかに伝統に縛られない自由な創造性により生み出されるかを顕著に物語ります。

2.3 究極のドライビング・プレジャー： MINI Crossover

MINI Crossover は、MINI 特有のドライビング・プレジャーを新しい次元で実現しました。初めての4ドア・モデルとなる MINI Crossover は、大型のテールゲートを備え、自由度に優れた室内は必要に応じて最大5人分の座席を提供することができます。MINI Crossover は、MINI ファミリーの中でボディ長が4mを超える最初のモデルであり、オプションで初めての四輪駆動システムを装備することができます。このような特徴のほか、シート・ポジションを高い位置に設定したり、走行快適性を最適化したりすることで MINI 特有のフィーリングに新たな特徴を付け加え、このセグメントで唯一のプレミアム・カーとして、都市部におけるモビリティの枠を超え新たなターゲット・グループに向けて発信されました。

最新世代のガソリン・エンジン

MINI Crossover には、3種類のガソリン・エンジンが用意されています。そのラインアップは、出力72kW[98ps]の MINI One Crossover、90kW[122ps]の MINI Cooper Crossover、そしてこの排気量クラスでもっとも効率の良い1.6リッター4気筒エンジンを搭載し、出力135kW[184ps]を誇る MINI Cooper S Crossover ALL4 となっています。また標準装備の6速マニュアル・トランスミッションの他に、全モデルで6速オートマチック・トランスミッションが選択可能です。

MINI ALL4：新たな分野のドライビング・プレジャー

オプション装備品の四輪駆動システム MINI ALL4により、舗装路以外でも MINI 特有のドライビング・プレジャーを堪能することができます。このフルタイム四輪駆動システムは、変化する条件にすばやく正確に対応することで MINI 特有の俊敏なハンドリングにトラクションの最適化という新しい特徴を追加します。ファイナル・ドライブに直接取り付けられた電磁式センター・ディファレンシャルにより、前後アクスルの駆動力配分を無段階に調整します。この四輪駆動システムは、MINI Cooper S Crossover ALL4 に設定されます。。

新開発のサスペンションが **MINI** 特有の俊敏性と卓越した走行快適性を融合。正確なハンドリングと刺激的な俊敏性により、MINI Crossover はブランド特有の走行特性を新しい車両コンセプトに採り入れました。MINI 特有の走行特性と卓越した走行快適性が組み合わせられることにより、行動範囲をさらに広げるための理想的な前提条件が整います。このための基礎は、新開発のサスペンション・システムによって可能になっています。特にマクファーソン・ストラットおよび鍛造コントロール・アームを装備したフロント・アクスル、マルチリンク・リヤ・アクスル、電動パワー・ステアリング (EPS) などです。MINI Crossover は、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) を標準装備しています。

デザイン：個性を強調した、紛れもない MINI

MINI Crossover は個性的でたくましい印象を放ち、ブランド独自のキャラクターを実現しています。4 枚のドアと大型テールゲート、特徴的なルーフ形状、高く盛り上がったフロントが、MINI モデル・ファミリーの中で MINI Crossover を個性的なモデルとして位置づけています。またブランド特有のプロポーションとデザイン・エレメントも、人目を惹きつけます。ショート・オーバーハング、高いウエスト・ライン、周囲を取り囲むウィンドウ、4 つのホイールに力強く支えられたスタンスは、ボディ寸法の拡大と相まって、信頼性に満ちた印象を与えます。六角形のラジエター・グリル、エンジン・フードに組み込まれた大型ヘッドライト、ターン・シグナルを取り込んだサイド・スカットル、大きく膨らんだホイール・アーチ、垂直に配置されたテール・ライトなど、独自のキャラクターを新たに解釈し直しました。

様々なアレンジの可能性と革新的なディテールによる洗練された機能性

MINI Crossover の後席のシートは、2 席のセパレート・シートまたは希望に応じて無料オプションの 3 人掛けの後席ベンチ・シートを選択できます。後席シートは、個別に前後位置とバックレストの角度を調節できます。3 人掛けベンチ・シートの場合も、60 : 40 (3 人掛けベンチ・シート) の比率で前後位置を、40 : 20 : 40 の比率でバックレストの角度を調節できます。ラゲッジ・ルーム容量は 350 リッターから 1,170 リッターまで拡張できます。MINI Crossover には革新的な収納および固定システムのセンター・ルールが標準装備されています。

快適性を高める標準装備と多彩なカスタマイゼーションの可能性

MINI Crossover には、エア・コンディショナーや CD オーディオ・システムなどが標準装備されています。またさらなる個性化のために、MINI Crossover 限定のボディー・カラーやインテリア・カラー、豊富なシート・バリエーション、トリム・エレメント、モデル専用の装備品、高性能オーディオおよびナビゲーション・システムなど、多彩なオプションが用意されています。

2.4 感動から情熱へ： MINI John Cooper Works

John Cooper Works は、サーキットだけでなく一般道路でも突出したパフォーマンスを発揮します。MINI のサブ・ブランドとして位置づけられる MINI John Cooper Works は、刺激的な走行特性、本物のデザイン、モータースポーツに対する妥協を知らない情熱を表しています。MINI John Cooper Works には、パフォーマンス志向のキャラクターがぎっしりと凝縮されています。この MINI モデルの中のトップ・アスリートは、ツイン・スクロール・ターボ・チャージャーを装備したダイレクト・インジェクションの 1.6 リッター直列 4 気筒エンジンを搭載し、最高出力 155 kW[211 ps]を発揮します。ドライブ・トレインだけでなく、極めて軽量の高級アロイ・ホイール、極めて強力なブレーキ・システム、エグゾースト・システムなどに変更が加えられた 6 速マニュアル・トランスミッションなどにも、MINI のワンメーカー・レース MINI Challenge 用レーシング・カーとの緊密な類似性があります。いまだかつて、一般道路を走る MINI にこれほどのモータースポーツのノウハウが直接導入されたことはほとんどありません。

日常生活で体感できるモータースポーツの技術

MINI John Cooper Works のボンネットの下にあるパワー・ユニットは、英国ハムズホールにある BMW グループのエンジン工場で組み立てられます。ちなみにこの工場では、すべての MINI モデル・バリエーションのパワー・ユニットを生産しています。排気量 1 リッターあたり 132 ps のパワーを生み出すこのエンジンは、純然たるスポーツカーの領域へと突き進みます。エンジンは 6,000 rpm で最高出力に達します。また、わずか 1,850 rpm のエンジン回転数で 260 Nm の最大トルクを発生します。加速時には、エンジン回転数 2,000~5,100 rpm の範囲でブースト圧を短時間で上昇させることで、最大トルクは 280 Nm まで引き上げられます。このオーバーブースト機能は、スポーツ性能に優れたこのモデルにさらにパワフルな瞬発力をもたらします。

MINI John Cooper Works の 0-100km/h 加速は 6.8 秒、最高速度は 234 km/h に達します。このような高い性能を実現しながらも、このモデルの燃料消費量は大幅に低減されています。

新次元のゴーカート・フィーリング

MINI John Cooper Works はスポーティーな設定のサスペンションを標準装備し、魅力的なハンドリングを実現します。この他、フロントおよびリヤ・アクスルには、さらに固めに設定されたダンパー特性と強力なスタビライザーを備えたスポーツ・サスペンションも用意しています。本格的なレース・スポーツ仕様には、さらにアクセサリ商品で John Cooper Works サスペンションを選択できます。このサスペンションは車高が 10 mm 低くなり、スポーツ・サスペンションよりもダンパー特性がさらに固めに設定され、スタビライザーの直径も大きくなっています。

標準装備のスポーツ・ブレーキ・システムは優れた制動力を保証し、正確なレスポンスときめ細かな制動力配分をもたらします。赤く塗装されたアルミニウム製固定キャリパー付きディスク・ブレーキ(フロントはベンチレーテッド、キャリパーに John Cooper Works のエンブレム付き)はサイズを大きくし、その構造と作動方式は MINI CHALLENGE のレーシング・カーのブレーキ・システムをベースにしています。標準装備の John Cooper Works クロス・スポーク・チャレンジの超軽量 17 インチ・アロイ・ホイールも、同じく CHALLENGE 仕様をベースにしたものです。

さらに、ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)、スタート・オフ・アシスタント機能、ダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)が標準装備されています。また、DSC オフ・モードでは、ドライブ・アクスル・ディファレンシャルの電子制御式ロック機能(エレクトロニック・ディファレンシャル・ロック・コントロール)によって、特にダイナミックなコーナリング時に最適な駆動力と完璧なトラクションを提供します。

室内に漂うスポーツカーの雰囲気

MINI John Cooper Works のインテリアの標準装備品には、シンプルさの中にもスポーティーな要素が漂います。3 スポーク・レザー・スポーツ・ステアリング・ホイールは、ドライバーとスポーティーなパワー・ユニットの間をつなぐ優れたインターフェースとして機能し、アンソラジット・カラーのルーフ・ライナーと光沢のある「ピアノ・ブラック」のインテリア・サーフェスが落ち着いた雰囲気を作り出し、ドライバーを走行状況に集中させます。さらに、最高 260 km/h まで目盛りが刻まれたスピード・メーターも、このハイパフォーマンス・モデルが紛れもないスポーツカーであることを示しています。